

# 平成30年度概況報告

自. 平成30年4月1日

至. 平成31年3月31日

平成30年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続くなか個人消費の持ち直しの動きが見られ景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。しかしながら、米国政権の保護主義的な通称政策に端を発する貿易摩擦のリスクの高まりなど、海外における政治経済の不確実性により先行きは不透明な状況が続いております。このような経済状況のもと、当会では「企業及び社会の健全な発展に貢献する納税者団体」として原点である「税」に関する事業を中心に幅広い事業活動に力を注いでまいりました。

税の啓発事業では次代を担う子供達に“税の大切さ”や“税の果たす役割”を正しく理解してもらうため市原市立千種小学校、千葉市立金沢小学校において「租税教室」を開催し、270名の参加を頂きました。第5回になる「税に関する絵はがきコンクール」を千葉南税務署管内の小学校4年・5年・6年生を対象に本年も実施し、千葉市27校、市原市41校全校より応募があり昨年の3,837通を大幅に上回る4,841通の応募がありました。又、2019年10月より施行になる消費税の軽減税率制度対策として、9月に社会保険労務士檀間氏による「レジ・タブレット購入に対する国の補助金申請のしかた」、10月から11月にかけて千葉南税務署担当官による「軽減税率制度とインボイス制度」の概要について研修会を開催し198名の参加を頂きました。

税の広報事業として「確定申告&マイナンバーPR用マグネットシート」を千葉南青色申告会と共催により、千葉県タクシー協会市原支部・千葉支部加盟タクシー約680台に“走る広告塔”としてご協力頂き「国税庁ホームページで確定申告書ができます」と「申告書にはマイナンバーの記載が必要です」の広報活動を実施いたしました。

会員増強事業として組織の充実、強化を図るため会員の維持と増強を両輪として組織的な活動を推進し、82社の新規加入があったものの、平成29年度末2,716会員が平成30年度末では2,706会員となりました。

税以外にも経営支援事業や地域発展事業等当会はその基本方針である「良き経営者を目指すものの団体」として企業と地域社会の発展に貢献できる事業を実施いたしました。

以下主な活動についてご報告いたします。

## ◎会報発行状況について

会報122号	16ページ	平成30年6月	2,850部
会報123号	16ページ	平成30年9月	2,850部
会報124号	16ページ	平成30年12月	2,850部
会報125号	20ページ	平成31年3月	2,950部

## ◎会員異動に関する事項

平成30年4月1日	2,716社
入会	82社
退会	92社
平成31年3月31日	2,706社

## ◎行事回数及び参加人数

理事会	4回	140名
委員会	20回	160名
支部連合・支部	33回	471名
源泉部会	8回	137名
青年部会	17回	348名
女性部会	16回	202名
全法連・県法連	40回	120名
税務研修会	39回	665名
租税教室	2校	270名
税に関する絵はがきコンクール	68校	4,841名
税の広報事業	5回	43名
地域発展事業	1校	305名
合計	253回	7,703名